販通 210701

離床センサーのパイオニア・テクノスジャパンがお届けします

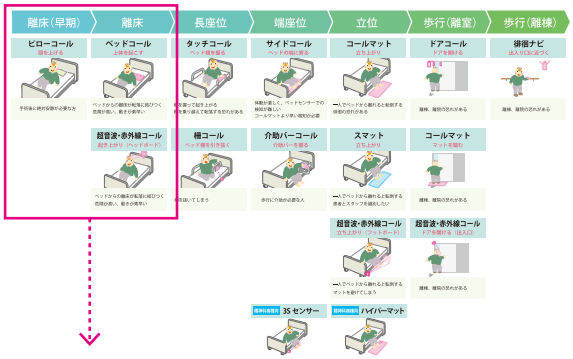
テクノス通信 Nursing ～ナーシング～

vol.134
2021

今月のテーマ

「離床」行動を検知する、離床センサーのご紹介

前回 133 号「患者の行動に合わせた、離床センサーの選定 2021」の中で紹介しました、【離床】行動を検知するセンサーを特集いたします。



離床(早期)

手術後、**安静が必要な**患者を対象としたセンサー

ピローコール

頭を枕から上げるとお知らせ

特長

- センサーをまくらの下に設置
- 動作遅延時間の調整が可能(0.5、1.5、3 秒)

対象

絶対安静の患者

主に手術後の患者に有効なのね！

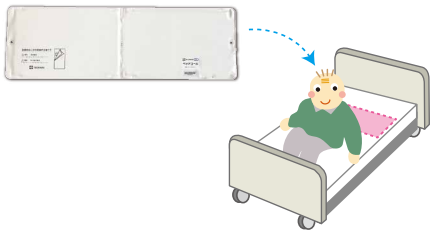
不向き

× 寝返りが多い方
× 少しの動きでは報知したくない時

離床

転倒する危険度が高い患者を対象としたセンサー

ベッドコール



上体を起こすとお知らせ

特長

- 厚みがたったの 6mm
- 動作遅延時間の調整が可能(0.5、1.5、3 秒)
- マットレスの上にセンサーを設置、上からシーツを被せるので患者に気づかれにくい

※詳しくは教えて相談室 129 号をご覧ください！

対象

転倒の危険性が高い患者
起き上がると転落の可能性が高い患者
動きが早い患者

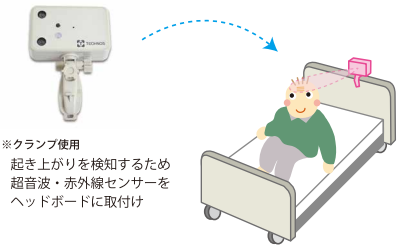
一番早く動きを検知できるセンサー！

不向き

△ 体重が 30kg 台の方
× 体圧分散マットレス
× エアマット

患者の ADL に合わせた設置ができるセンサー

超音波・赤外線コール



※クランプ使用
起き上がりを検知するため超音波・赤外線センサーをヘッドボードに取付け

センサーの検出範囲に入るとお知らせ

特長

- AC アダプタ・電池両用可能
- 赤色ビームで検知方向を確認できます
- 検知距離設定で(0.5、1、1.5m)設定可能
- 取付け方法は 3 種類！

※詳しくはテクノス通信 97 号をご覧ください！

対象

ベッドコールとマットレスの相性が悪く設置できない場合
ADL が変化する患者

患者の動きを見て設置する位置を決めるのね

不向き

× ギャッジアップの状態で日中過ごされる方
× 寝返りが大きい方、体動が激しい方

頭部の手術後、絶対安静の患者の動きを知るために使用しています！

A 病院　脳神経外科

一人で歩くと転倒の危険性が高い患者に使用しています！

B 病院　内科

ベッドセンサーを使用していましたが、マットレスが柔らかいので、超音波・赤外線センサーを使用しています！

C 病院　内科

無断の複製、転載は固くお断りいたします。 Copyright2021 Technos Japan Co.,Ltd.All Rights Reserved.